

1 単元名 本とともにだちになるう「ずうっと、ずっと、大すきだよ」

2 目標

- (1) 場面の様子を想像しながら進んで読んだり、紹介したい本について意欲的に書いたり話したりすることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 場面の様子や登場人物の行動について、想像を広げながら読むことができる。(読む)
- (3) 友達に紹介したい本を選んで、教科書に示された観点に沿って、紹介文を書くことができる。(書く)
- (4) 今までに読んだ本の中から好きな本を友達に紹介したり、友達の紹介を聞いたりすることができる。(話す・聞く)
- (5) 新出の漢字や片仮名を正しく読んだり書いたりすることができる。(言語)

3 指導について

本単元では、まず、「ずうっと、ずっと、大すきだよ」の読み取りを通して、これまでの学習で培った読みの力を定着させるとともに、それを生かして児童が楽しみながら教材を読み進め、読書の楽しさを体験する。次に、友達と本を紹介し合う活動を行う。これらの学習活動を通して、読書の楽しみと親しみをさらに広げることをねらいとしている。

本教材「ずうっと、ずっと、大すきだよ」は、主人公「ぼく」が愛犬「エルフ」をいかに愛していたか、回想の形をとって展開されている。物語は、大きく四つの部分で構成されている。いわゆる起承転結の型である。「エルフの紹介」(起)、「主人公とエルフの心の交流」(承)、「エルフの老いと死」(転)、「後日談」(結)という構成で成り立っている。エルフが年をとっていき、やがて死んでしまう第三の部分が、この物語のクライマックスである。年をとったエルフに「ずうっと、大すきだよ。」という言葉がいつもささやく「ぼく」。主人公がいかにエルフを愛していたかが分かる。また、このことが、死という悲しみの中にも気持ちの救いとなっている。低学年の児童は、生き物に対して強い興味関心をもっている。本学級の中にも、生き物といっしょに遊んだり、世話をしたりする経験をもっている児童もいる。この物語の主人公の心情も、主人公に同化しながら読むことができると思われる。

【国語に関する意識調査(平成20年11月20日、31名実施)】

1 国語の学習は好きか。	好き17名、ふつう11名、嫌い3名
2 「くじらぐも」では、どんな学習活動(表現活動)が楽しかったか。(複数回答)	・体を動かしながら、劇のようにして遊ぶ・・・26名 ・役割を決めて、音読する・・・25名 ・想像して、吹き出しに言葉を書く・・・22名 ・登場人物に手紙を書く・・・21名
3 読書は好きか。	好き28名、ふつう3名、嫌い0名
4 どんな本が好きか。	・お話の絵本・・・19名 ・生き物の本・・・23名 ・車の本・・・11名 ・クイズ・なぞなぞの本・・・26名

本学級の児童は、意識調査からも分かるように本を読むことは好きで、学級文庫の本をたくさん読んでいる。1冊の本をじっくりと読んでいる子、どんどん読んで読破した冊数を伸ばすことに意欲的な子、一字一字を声に出しながら一生懸命読んでいる子など読書の姿はさまざまである。国語の時間には、発音練習を兼ねた詩(言葉遊び)の音読を楽しんだり、進んで手を挙げて発表したりと意欲的に学習している子が多い。授業中、大きな声で読んだり話したりすることに消極的な子も、話をよく聞いたりきちんと文字を書いたりまじめに学習している。

児童は、「はなのみち」「大きなかぶ」「くじらぐも」などの物語の教材により、物語の筋をとらえたり、場面や登場人物の様子を想像したりする学習に繰り返し取り組んできた。これまでの学習では、役割読みや動作化を取り入れた音読をしたり、登場人物の気持ちになって吹き出しに書いたりする活動を楽しんできた。

指導にあたっては、次のようなことを大切にしながら進めていきたい。

挿し絵を活用して想像を広げ、叙述によって確かめていく。

児童が主体的に作品を楽しんでいくことができるように、児童の知識や経験を語り合いながら、物語の展開を楽しんだり感想を伝え合ったりする。

音読・動作化・吹き出しに書く活動など、多様な表現活動を取り入れる。

4 単元の指導計画（12時間取り扱い）

次	時間	学 習 活 動	評価の観点
第一	1	「本とともにだちになろう」の学習について知る。 本単元の学習計画を知り，見通しをもつ。 題名や挿し絵から，物語の内容を予想する。 新出漢字・片仮名を練習する。	・物語の内容を予想して，意欲的に話し合うことができる。 （関心・意欲・態度）
第二	2	「ずうっと，ずっと，大すきだよ」を読む。 教師の読み聞かせを聞いて，あらすじをつかむ。 初発の感想を書く。	・物語に興味をもち，感想を書くことができる。 （関心・意欲・態度）
	3	初発の感想を発表する。 形式段落に番号をうち，大きく場面を分ける。	・物語を楽しみながら，読もうとする。 （関心・意欲・態度）
	4	一の場面（P26～27）を読む。 ・エルフとぼくの成長	・エルフと「ぼく」の様子や行動について，想像を広げながら読むことができる。 （読む）
	5	二の場面（P28～29L2）を読む。 ・エルフと主人公一家の暮らし ・家族の思い	
	7	四の場面（P32～33）を読む。 ・エルフの死 ・ぼくと家族の思いのちがい（吹き出し）	
	8	五の場面（P34～35）を読む。 ・エルフの死後	
第三	9	好きな本の紹介カードを作る。 本の紹介のしかたを知る。 好きな本を選び，紹介するための絵をかく。	・好きな本について，教科書に示された観点にそって紹介を書くことができる。 （書く）
10	紹介カードを書き，完成させる。		
第四	11	「わたしのおすすめの本」の紹介をする。 グループで本の紹介の練習をする。	・選んだ本について，聞き手によく分かるようにはっきり話したり，友達の紹介をよく聞いたりすることができる。 （話す・聞く）
	12	紹介カードを見せながら，本の紹介する。	

5 本時の指導

（1）目標

年長いたエルフや「ぼく」の様子を読み取り，「ぼく」のエルフへの思いを想像して吹き出しに書くことができる。

（2）準備・資料

学習計画表（掲示用） 挿し絵の掛け図 吹き出しのワークシート

(3) 展開

学習活動と内容	準備	支援の手だて(個への手だて 評価)
<p>1 前時までの学習を振り返る。 ・学習計画表で確認する。</p> <p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>三のぼめんをよんで、「ぼく」のきもちをかながえよう。</p> </div> <p>3 本文を音読する。(一斉読み)</p> <p>4 エルフと「ぼく」の様子を読み取る。 エルフの様子 ・どんどんふとっていった。 ・としをとって、ねていることがおおくなり、さんぼをいやがるようになった。 ・かいだんも上れなくなった。 「ぼく」の様子を読み取る。 ・ぼくは、とてもしんぱいした。 ・じゅういさんにつれていった。 ・ぼくのへやでねなくちゃいけないんだ。 ・やわらかいまくらをやって、 ・ねるまえには、かならず、「エルフ、ずうっと、大すきだよ。」って、いってやった。</p> <p>5 エルフを抱いて自分の部屋に連れて行く「ぼく」の気持ちを考えて、吹き出しに書く。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、次時の学習について確認する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示してある学習計画表で学習の進行状況を確認する。 ・ 声に出して読み上げながら、ノートに課題を丁寧に書くことで、本時の課題をしっかりとつかめるようにする。 ・ 本時の学習場面を確認するために、一斉に音読する。 ・ 本文の順を追って、年老いていくエルフの様子と、「ぼく」の行動が分かる文を探して話し合っていく、表に整理して板書していくことで、丁寧に読み取っていく。 ・ 表に書いた文に照らし合わせて挿し絵を掲示して、挿し絵からうかがえる「ぼく」の様子や気持ちについても話し合っていく。 ・ 時間や児童の様子を見計らいながら必要に応じて児童の体験談を聞くなどして、エルフの老いや「ぼく」の思いへの想像をふくらませるようにする。 ・ 「エルフ、ずうっと、大すきだよ。」の言葉は、「ぼく」のエルフへの思いが込められている言葉であり、主題に関わる大切な言葉である。そこで、次のことを取り上げて、「ぼく」のエルフへの愛情の強さに気づけるようにしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ずうっと」と「ずっと」のちがいを ・ 「大すき」の「大」の漢字の成り立ちと意味(人が大きく両手を広げている姿を実際にやってみる。) これらを理解したうえで、「ぼく」になったつもりで音読してみる。 ・ 机間指導で児童の活動を見とり、 をつけたり声をかけたりしていく。 書き終わった児童には、「ぼく」になったつもりで書いたものを読んでみるように声をかける。 何を書いていいか戸惑っている児童には、「エルフ、ずうっと、大すきだよ。」と視写させ、その後続く言葉を考えて書いてみるよう声をかける。または、「エルフになんと言っていてあげていると思うか」と問いかけ、児童の考えを引き出して、「それを書いてみよう」と認めて自信をもたせるようにしたい。 ・ 児童の活動の進み具合を見て時間があれば、数名の児童の発表の時間をとることとする。 エルフへの「ぼく」の気持ちを想像して書くことができたか。(ワークシート・発表) ・ 学習計画表に簡単に感想を書くことで学習のまとめとする。

本とともだちに なるじ

なまえ

おしゅうすしゅう大すきだよ 学しゅうけいかく

月日	じかん	
	一	学しゅうけいかくをしる。 あたらしいかん字とかたかなをねんしゅうする。
	二	せんせいのおんじゅくをまじこて、はじめのかんそしゅうをかへ。
	三	はじめのかんそしゅうをはじゅうしゅうする。 だんらくじほんじゅうしゅうをわけて。
	四	一のぼめんをくわじへせむ。
	五	二のぼめんをくわじへせむ。
	六	三のぼめんをくわじへせむ。
	七	四のぼめんをくわじへせむ。
	八	五のぼめんをくわじへせむ。
	九	しょうかいたしたいすきな本をえらんで、えをかへ。
	十	しょうかいカードをかへ。
	十一	グループで、本のしょうかいのねんしゅうをする。
	十二	本のしょうかいをする。